

元気いっぱい 友だちいっぱい
すずかで学ぼう かなたの夢つぼもう

横浜市立美しが丘小学校 平成27年8月27日



美小通信 5

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

平和の尊さ

校長 畠山 真

この夏の猛暑も少しずつ和らぎ、花壇の花もひまわりからコスモスの花が咲き始め、初秋の訪れを感じさせます。

8月の初めに、伊勢神宮から那智熊野大社、高野山へと旅をしてきました。古に人々が通ったと言われる熊野古道を訪ね、昔の旅人になった気分歩いてきました。どれも印象深かったのですが、特に高野山は宿坊に泊まりとてもよい思い出ができました。この宿坊は「天徳院」と言って加賀藩前田家の縁の寺で、僧侶のてきぱきとした給仕のもと、夕食を黙々と済ませました。翌朝は静まり返った高野山の金剛峰寺の辺りを散歩し、早朝の凜とした本堂での勤行(ごんぎょう)に参加したことで、とても清々しい気持ちになりました。日本の昔からある神社や寺、古道を歩いて回り、由緒ある建物や仏像、杉林を見て回ることその時代に自分が入り込んだ気がしました。

さて、今年には終戦から70年を迎えました。終戦記念日の8月15日に川崎市中原区にある「川崎市平和館」に行ってきました。そこでは、特別展ということで広島・長崎の原爆と沖縄戦が展示されていました。広島展では、背中に着物の模様がはり付いた女性の後ろ姿の写真が掲載されていました。原爆の恐ろしさを痛感しました。20年ほど前に広島に行った時の原爆ドームや原爆資料館で見た光景が蘇りました。柱に人の影が張り付いたものや時計が溶けたものが展示されていました。また、沖縄戦での様子もビデオで紹介されていました。鉄の暴風と呼ばれた砲撃の様子や逃げ惑う人々の様子も克明に映し出され、あまりの惨たらしさに目を背けたくくなりました。12時に黙とうもしました。

この特別展を見て思ったのは、戦争は絶対にしてはいけない、過ちを二度と繰り返してはいけないということです。「平和」について、改めて考えさせられました。辞書では、「平和」とは、戦争がなく穏やかにおさまっていること、安らかなことと書かれています。いかに今の生活が穏やかで落ち着いているのか実感させられます。小学生新聞には、平和とは空気みたいなものと表現されていました。日常の生活が平穏で、脅かされることなく生活できることが平和の証だと思います。4年前の東日本大震災でも日常の大切さを感じました。さらに、今年8月12日は御巢鷹山の墜落事故から30年を迎えましたが、妹さんが助かったお兄さんの手記を読んでも、生きることのすばらしさを感じました。また、高校野球はこの夏で100年を迎えました。連日、高校生たちのひたむきなプレーがテレビに映し出され、手に汗握る熱戦が繰り広げられ、感動を与えてくれました。それでも、高校野球も戦争で開催できなかったこともあり今回97回目でした。

この平和をいつまでも続けていきたい、平和の尊さをかみしめて生きていきたいと思った2015年の夏でした。

